

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

<本年度の学力向上基本方針>

だれもが「学びたい、分かった、できた」と実感できる授業づくり
～ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた指導の工夫・改善～

4月

学力向上目標①

○さいたま市学習状況調査、数学の領域「数と式」・国語の領域「書くこと」の平均正答率を令和元年度より3ポイント向上させた値にする。

<目標達成に向けた学力向上策>

策1

本校の実態に合わせた、ユニバーサルデザインの考え方を全教職員が共有し、具体的な共通行動の確認及び推進。

開始期日

5月

具体的な手立て

- ・数学の授業において、計算問題に取り組む時間を確保する。また課題等で計算問題に取り組ませる。
- ・教材や単元の終末時に書く活動に取り組ませる。

8月

2月

本年度の振り返り

教員相互の授業参観（参加）を行いながら研鑽を積み重ね、導入の工夫や本時のねらいを明確にするなど、一定化した授業の流れをつくることで、課題などに取り組む時間を確保した。

達成度

80%

3月

次年度の学力向上目標の柱・ポイント

- ・ICTを活用した、授業の指導方法の工夫・改善
- ・ICT機器に対応する教室環境及び学習環境の整備

4月

学力向上目標②

○学校評価アンケートの授業及び学力の項目にて、肯定的な回答を80%以上とする。

<目標達成に向けた学力向上策>

策1

本校の実態に合わせた、ユニバーサルデザインの考え方を全教職員が共有し、具体的な共通行動の確認及び推進。

開始期日

5月

具体的な手立て

- ・ICT等の活用による、視覚化・焦点化・共有化を重視した授業の推進。
- ・一定化した授業の流れをつくり、授業構成の工夫・改善の推進。

8月

2月

本年度の振り返り

本校の実態に合わせた、ユニバーサルデザインの考え方を全教職員が共有し、具体的な共通行動の推進をするために自主発表を行った。

達成度

80%

3月

次年度の学力向上目標の柱・ポイント

本年度までの本校の教育実践と、ICT機器の活用による授業の指導方法の工夫・改善